



ヘンプ VS マリファナ

植物分類学ではヘンプとマリファナは同じアサ科(学名:カンナビスサティバ)に属するため、類似する特徴を持ち合わせるものの、生体構造の相違から、大きく異なる特性を備えております。

ヘンプ

【代表的な製品】

- CBDオイル
- ヘンプオイル
- フルスペクトラムヘンプオイル(ヘンプ由来)

【THCの含有量】

- 0.3%もしくはそれ以下のTHC含有量(日本国内では0.0%の含有値のみ合法。)

【特長】

- アサ科に属する産業用ヘンプを含むヘンプは衣類や種、オイルを目的に農業用作物として栽培されてきた。
- 多様な気候に順応性を備えており、他の植物と共存する事が可能。また、手間を要しない。
- 葉は茎の先まで生い茂り、背丈は5~6mまで成長する。
- 向精神作用を備えない。



マリファナ

【代表的な製品】

- THC オイル
- マリファナオイル
- CBDオイル(マリファナ由来)

【THCの含有量】

- 15%~20%もしくは以下のTHC含有量

【特長】

- マリファナはその先端に咲く花が特徴で通常、この花の部分に高濃度のTHCが含まれる。
- 精神活性作用を最大限に引き出すために、高温多湿な環境下で隔離丁寧にかつ手間をかけて栽培。異花で受粉するとTHCの破壊につながる。
- 背丈は短めで、低木に類似した外観。また、本体周りを多くの葉と芽が囲っている。
- 向精神作用を備える。

